

日商簿記2級第143回予想論点

第2問（第3予想）

会計期間が平成28年4月1日から29年3月31日までの亀山商会の次に示した資料に基づき、それぞれの仕訳を記入しなさい。なお、科目は前T/Bにあるものは、その科目を使用し、それ以外は下から選ぶこと。

現金預金・重機売上・前受金・前払金・未収金・未払金・売上原価

【資料1】前T/Bの値（抜粋）29年3月31日現在

売掛金	1,000,000	預かり営業保証金	50,000
クレジット売掛金	500,000	貸倒引当金	10,000
電子記録債権	100,000	重機売上	0
繰越商品	300,000	一般売上	4,000,000
商品	0	クレジット売上	1,000,000
仕掛品	100,000	役務収益	400,000
長期貸付金	300,000		
仕入	2,000,000		
役務原価	150,000		
支払手数料	70,000		
手形売却損	1,000		

【資料2】未処理事項

- 今回初取引になる重機売上は出荷基準を採用している。不慣れな担当者が3/31日に出荷した重機売上300,000円（原価200,000円）を一般売上として計上していたため訂正を行う。なお、重機売上は売上原価対立法で処理している。
- 3月25日のクレジット売上の計上漏れがあった。200,000円で手数料5%である。
- 電子記録債権50,000円を銀行で割引、割引料500円が差し引かれて当座預金に入金された。なお、当社では電子記録債権に係る損益は手形に係る損益と同一科目で処理している。

【資料 3】 決算整理事項

1. 売掛金の中には経営状態の悪化したスパム商事の売掛金が 100,000 円含まれている。当該債権から営業保証金 30,000 円を控除した残額の 50%を貸倒引当金として設定する。その他の売上債権（電子記録債権含む）の期末残高に対して 2%の貸倒引当金を差額補充法にて設定する。なお、長期貸付金の 2%も貸倒引当金を差額補充法にて設定する。前 T/B の貸倒引当金のうち 3,000 円は長期貸付金のものである。（仕訳は販売管理費と営業外費用で 2 行記すこと：科目を分ける必要はない）
2. 商品の帳簿棚卸高は 200,000 円であり、実地棚卸高は 210,000 円であった。なお、のちの調査で得意先から返品を受けた商品（20,000 円）が帳簿棚卸高に含まれていない事が判明した（返品の会計処理は処理済み）。なお、売上原価は仕入の行で計算しており、棚卸減耗損は売上原価の内訳項目とする。＜この仕訳では重機売上関連の商品は考慮しなくてよい＞
3. 当社の教育部門が実施している日商簿記 WEB 講座の次期実施予定の金額が 100,000 円で確定した。なお、当期の収益には、この金額も含まれており既に入金済である。さらに、WEB 講座の支払処理済みの教材作成代金のうちいまだ原価に計上していない 40,000 円が当期の役務収益にかかわるものだと判明した。

	借方	金額	貸方	金額
1				
2				
3				
1				
2				
3				

<応用論点>

P/L・B/Sに記載する次の金額を答えなさい

期首商品棚卸額		◎
当期商品仕入額		△
総売上原価 (棚卸減耗含む)		×
貸倒引当金繰入額 (販売管理費部分)		○仕訳できれば大丈夫
預かり営業保証金		○引っかけられないように
支払手数料		◎
役務収益		○
役務原価		△

◎間違っってはいけない箇所

○できれば取りたい問題

△これが解ければ本試験では有利

×難易度高い！解説聞いてわからなくてもOK

<解答>

	借方	金額	貸方	金額
1	一般売上	300,000	重機売上	300,000
	売上原価	200,000	仕入	200,000
2	クレジット売掛金	190,000	クレジット売上	200,000
	支払手数料	10,000		
3	現金預金	49,500	電子記録債権	50,000
	手形売却損	500		
1	貸倒引当金繰入額	60,800	貸倒引当金	60,800
	貸倒引当金繰入額	3,000	貸倒引当金	3,000
2	仕入	300,000	繰越商品	300,000
	繰越商品	220,000	仕入	220,000
	棚卸減耗損	10,000	繰越商品	10,000
	仕入	10,000	棚卸減耗損	10,000
3	役務収益	100,000	前受金	100,000
	役務原価	40,000	仕掛品	40,000

<応用論点>

P/L・B/Sに記載する次の金額を答えなさい

期首商品棚卸額	300,000
当期商品仕入額	2,000,000
総売上原価 (棚卸減耗含む)	2,090,000
貸倒引当金繰入額 (販売管理費部分)	60,800
預かり営業保証金	50,000
支払手数料	80,000
役務収益	300,000
役務原価	190,000